

水道事業評価(令和6年度)

1 事業情報

担当課

上水道維持課

目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施策	1-3 安全な水道水の提供	事業	1-3-2 水道管洗浄の促進
----------	----	------	----------------	----	---------------	----	----------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	水道管の多くは鋳鉄管またはダクタイル鋳鉄管であり、管内面に防錆処理をしています。鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・配水管洗管計画に基づき、効率的に洗管作業を行います。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区やお客様ニーズの高い地区を定期的に排水作業を行います。							
期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位：千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位：％
	事業費計	106,205	106,205	0	98,715	98,715	0	93%
	工事費	0			0	0		
	原材料費	0			0	0		
	委託料	106,205	106,205		98,715	98,715		93%
	賃借料	0			0	0		
	その他	0			0	0		
	人件費	12,540			12,540			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	83,036千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	78%		
進捗状況	・配水管洗管業務委託は発注済であり、洗管作業も予定通り進めています。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区は定期的に排水作業を行っております。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・南平及び神根地区の洗管作業を行いました。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区20箇所を定期的に排水を行い、水質劣化を防ぎました。 ・濁水の苦情及び管内状況把握のため、管内調査を33箇所行いました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6	
指標名	【PI C505】水質に対する苦情対応割合	単位	件/千件	目標値	0.43	0.43	0.11	
算出式・根拠	(水質苦情対応件数/給水件数) × 1,000			実績値	0.12	0.10	0.07	
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	A	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	A
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	A
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	A		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
配水管洗管作業に関しては、水質劣化の起こりやすい管網末端部は定期排水を行うことにより、水質異常による苦情件数の減少に努めました。					A

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
今後も配水管洗浄作業を継続し、施工地区の管網特性を把握しつつ、今後の維持管理に活かします。また、水質劣化が起こりやすい配水管末端地区等については、継続して排水作業を行っていきます。	現状維持で継続